

9月23日は「手話の日」

2017年12月19日、国連総会において、9月23日を「手話言語の国際デー」と定める決議が採択されました。

手話言語が音声言語と対等な言語であることを認め、ろう者の人権が保障される社会の実現を目的としています。

日本でも、2025年6月18日に「手話に関する施策の推進に関する法律(手話施策推進法)」が成立し、9月23日を「手話の日」として決めました。

あらゆる場面で手話言語によるコミュニケーションや情報保障が実現されることは、誰もが安心して暮らすことのできる「真の共生社会」の実現に向けた大きな一歩となります。

どうして
9月23日なの？

9月23日は
世界ろう連盟が
設立された日
(1951年)

ブルーライトアップで 世界をひとつに



9月23日、世界各地の街が青色に染まります。「平和」を象徴する青色は、手話言語が尊重され、誰もが当たり前の手話言語でコミュニケーションできる社会への希望を照らす光でもあります。市民・地域・社会がSNSでつながり、各国の手話言語を尊重しあい、世界中の人々とひとつになりましょう。

ともに、手話言語とろう者の尊厳をたたえる光を灯しましょう。

